



今年も、「群馬県一大きな笠懸小学校は思いやりも群馬県一」を目指します！

やさしく
かしましく
たくましく



笠懸小学校

学校だより No.12 2021.10.1

<https://midori-school.ed.jp/kasasho/>

「全国学力・学習状況調査」の結果と今後の取組について

今年度の5月27日に全国全ての公立小学校の6年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が行われ、本校でも調査結果について分析し、今後の取組について検討しました。学力調査の結果は児童がもっている力の一側面を表すものですが、学力は、子どもたちが生きていく上で必要かつ重要な資質・能力の一つです。調査では、思考力・判断力・表現力が問われる問題がたくさん出題されています。今の子どもたちに求められている力はどのようなものなのか、ぜひ、ご覧になっていただければと思います。今号では、調査結果の分析を通して、本校の学力・学習の状況や課題解決に向けた取組等をお伝えします。

学力(教科)に関する調査結果の概要

新聞等で既に報道されたとおり、今年度の本県の小学校の結果は、右表のとおりでした。平均正答率は、国語は全国をやや上回り、算数はやや全国を下回りました。

本校は、国語・算数とも県の平均を上回っており、全体としては、上位群・中位群が多く、下位群が少なくなっている傾向が見られました。また、記述でも、無回答が少なく、何とか自分なりに答えようと努めていました。

以下は、正答率ごとに見た具体的な出題の例です。

【本県と全国との比較（平均正答率）】

	国 語	算 数
県	65	69
国	64.7	70.2
差	+0.3	-1.2

〔平均正答率が県を大きく上回った出題の例〕

国 語	算 数
<ul style="list-style-type: none"> 漢字の書き取り（コロがっている、ツミ重ね、ゲンイン） 【スピーチメモ】と【スピーチ】の練習で、話の内容が明確になる説明として適切なものを選択する。 【文章の下書き】の構成についての説明として適切なものを選択する。 	<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く。 データを二次元の表のどこに入るかを選ぶ。 帯グラフから調べる目的に合った適切なデータを選ぶ。 30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く。

〔平均正答率が県を下回った出題の例〕

国 語	算 数
<ul style="list-style-type: none"> 【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する。 目的に応じ、文章と図表とを結びつけて、必要な情報を見付ける。 目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える。 	<ul style="list-style-type: none"> 500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く。 直角三角形を組み合わせた図形の面積についてわかることを選ぶ。 学年ごとの本の貸し出し冊数について棒グラフからわかることを選ぶ。 8人に4Lのジュースを等しく分けるときの一人分のジュースの量を求める式と答えを書く。

学習状況に関する調査結果の概要

学習状況調査については「児童質問紙」に回答するという形で行われます。全部で69の質問に答えることで、学習状況を把握しようとするものです。以下は、本校の児童質問紙の回答状況の一部です。

<全国と比べてプラス面の差が大きかった項目の例> 下線は特に高かった項目

- 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。 ○将来の夢や目標を持っている。
- 難しいことでも、失敗を怖れずに挑戦している。 ○人が困っているときは、進んで助けている。
- 人の役に立つ人間になりたいと思う。 ○学校に行くのは楽しいと思う。 ○友達と協力するのは楽しい。
- 自分の違う意見について考えるのは楽しい。 ○家で、自分で計画を立てて勉強をしている。
- 学校でコンピュータなどの ICT 機器を、ほかの友達と意見を交換したり、調べたりするために、毎日～週1回以上使用している。
- 5年生までに受けた授業で
 - ・学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考えを受け止めて自分の考えをしっかりと伝えてきた。
 - ・自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
 - ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができた。
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。
- 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めてきた。
- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- 道徳の授業で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- 国語や算数の勉強が将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。

<全国と比べてマイナス面の差が大きかった項目の例>

- 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ●新聞を読んでいる。 ●英語の勉強が好きである。
- 5年生までに受けた授業で、コンピュータなどの ICT 機器を毎日～週1回以上使用した。

考察と今後の取組

本校は、4年生からの算数専科教諭や教科担当制による学年共通の授業、自主勉強の定着、ハンドサインを活用した全員参加の授業、よりよい学級集団づくり（学級パワー）を大切にされた話し合い活動の活性化や自治的活動に力を入れてきました。昨年度は本調査を実施できませんでしたが、今年度は特に、無回答の児童が例年に比べて大変少なく、学習状況調査でも前向きなプラス思考の回答が目立ちました。日常的に話し合い活動を意図的に行い、どんな問題にも自分たちで話し合っ解決していこうという取組が、本調査においても自分なりに一生懸命に課題に取り組もうという前向きな意欲につながり、成果として現れたともいえます。

これまでも学力向上や学習状況の改善に向けた対策を全校で講じてきましたが、学力向上への近道はなく、日々の授業改善を核とした取組と学習の積み重ねがやはり重要であると考えます。コロナ禍による生活様式や意識の変化、急速な ICT 化による課題も多いですが、今後も「思いやり群馬県一」を目指し、学習指導の充実と自分らしさを発揮できる学級経営の充実を重視した研修を一層充実し、子どもたちの学力向上等に還元できるようにしていきたいと思えます。また、コロナ禍による生活リズムの乱れ等が心配ですが、ご家庭でも、基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化等についてご協力をお願いいたします。